

男鹿の大地と海で学び 社会に貢献できる人材の育成を目指して

男鹿海洋高校は平成16年4月に海洋技術高校と男鹿高校が統合し、創立13年目になりました。普通科、海洋科、食品科学科があり、それぞれが特色ある教育活動を行っています。普通科はビジネスに関する基本的な事柄を学習すると共に本校の特色を生かして水産業に関する知識を身につけた商業人の育成を目指しています。海洋科は海洋実習等から海に関わる船・生物・開発について学び、海洋関連産業のみならず広く地域社会に貢献できる人材育成を目指しています。食品科学科は食品製造や流通・管理について学んでいます。研究・実習等の中から海洋資源の有効活用を考えると共に、生徒一人一人が「ものづくり」に関心・意欲が高まる学習に取り組んでいます。また、三学科連携の下、水産物を獲って、加工して、販売するという水産の六次産業化を学校全体で学ぶ教育を目指しています。

昨年度は部活動等においても活躍があり、水深10mプールを有する本校ならではの水泳・マリンスポーツ部が東北の水産・海洋高等学校ダイビング技能コンテストで優勝を果たすと共に、個人の部で全日本スポーツダイビング室内選手権大会において種目100mフリッパー高校生の部で1位並びに年齢別大会新を記録しました。また、全国水産・海洋高等学校産業教育意見・体験発表会東北大会では漁業実習をとおして海から教えられたことや未来の海を守り続けたいという強い意志を述べた「海から私へ 私から未来の海へ」と題した生徒の発表が最優秀賞に選ばれました。さらにまた、課題研究では地域の産業に大きく貢献し得る



「ハタハタの雄・雌選別機の製作」が最優秀賞を受賞しています。加えて、実習製品の販売や生徒のボランティア活動も高く評価されています。また、多くの機会になまはげ太鼓部の演技披露をご覧いただき本高生の元気なパフォーマンスもお見せすることができました。今年度なまはげ太鼓部は郷土芸能部に名称を改め、地域の芸能文化を学び継承し広く皆様に披露できる活動ができればと考えています。

本校は総合的な学習の時間において、本校独自の設定による「男鹿学」を主に実施し、男鹿の郷土・自然を中心とした、ふるさと学・郷土学を学習し、豊かな人間性の涵養を図っています。ふるさとを知り、秋田を知り、日本を理解し、世界を理解する。結果、将来すぐに地元秋田に貢献する者。都会（日本）で社会貢献する者。世界を意識し、世界に関わりを持って社会貢献に携わる者。それら皆々、いずれはまた郷土秋田に戻り秋田から広く社会に貢献してくれる人材になってくれるものと思います。

松風台に建つ本校は、地域の皆様方に御支援をいただきながら育ってきた学校です。男鹿から沢山のことを学び経験し、「男鹿に学んで世界に羽ばたく生徒の育成」を目指し教育活動に取り組んでいきます。これからも部活動や実習製品の販売実習等、日頃の生徒の学びの成果を通して、生徒の生き生きと活躍する姿をご覧いただき、一層の御支援、御協力をいただきますようお願いいたします。

平成28年4月1日

秋田県立男鹿海洋高等学校 校長 平川 信重